

《発行：年4回》
春号・夏号・秋号・冬号
《ご意見・お問い合わせ》
奈良県鉄構建設業協同組合
まで



奈良県鉄構建設業協同組合
【事務局】
奈良県橿原市十市町1037番地
TEL:0744-25-7519
FAX:0744-25-7493
E-mail:nara.sfa@kcn.jp

理事長コーナー

先日より、「親子ものづくり体験教室」「大人の工場見学」と無事終了し、青年部会井上会長始め、参加して頂きました皆様にお礼申し上げます。工場見学の後の、建築士会、事務所協会との合同の懇親会も盛り上がり、これからも、このような交流を深めていく事が大切だと痛感致しました。この後、10月には「親睦ゴルフコンペ並びに懇親会」「技能フェスティバル」と、続きますが、引き続きのご協力、宜しくお願い致します。

次に全構協の活動の状況報告です。私が技術委員会で参加しているワーキンググループの中で、「性能評価工場審査の手引き」が完成しました。これからの工場審査の準備に、活用してもらえんと思います。「評価工場審査の手引き」は、組合事務局に届いていますので、必要に応じて、申し出て下さい。教育用DVDは、[組立工程][溶接工程]のシナリオ案が出てきて、順調に進んでいる感じです。期待以上の物が出来そうな予感...

写真は、8月に行われた陸上自衛隊、富士総合火力演習の様子です。「来るなら来い」のネーミングのついた、お土産も有りましたよ。



親子ものづくり体験教室

青年部会長 井上 貴成

8月22日(土)ポリテクセンター奈良で毎年行われています『親子ものづくり体験教室』が開催され青年部会から講師として多数参加していただきました。また、組合親会の方々にも御協力いただき、感謝しております。今回は去年同様にキャラクターを用いて置時計を作成していただきました。溶接は難しい作業ですが、体験を通して子ども達に少しでも“鉄”へ興味を持っていただき、将来私達が誇りに思う仕事を知っていただけたと思います。溶接は親御様が行い、時計付けを子ども様にさせていただきました。



講師紹介、事前説明



溶接作業の様子



出来上がった時計を持って記念写真

「自国の防衛と教育について」

泉岡鉄工 代表 泉岡眞佐樹



バトンタッチ



今年は日本が戦争に敗れて70年の節目、奈良県護国神社では400名の参列により、英霊にこたえる会奈良県本部主催の戦没者追悼式が挙行、祭文を奏上されたと聞く。

先般、安倍総理の70年談話が出て国の内外で賛否様々な意見が飛び交ったが、多方面にわたり配慮の行き届いた談話であったと思う。特にその中で、「次の世代の子供たちに謝罪を続ける宿命を背負わせてはならない」というところが最も重要な点であったかと思う。

占領軍によって日本の歴史が歪められ戦後の間違った教育によって中学校社会科の教科書に従軍慰安婦や南京大虐殺が載せられ、日本だけが悪かったと教え込まれた。日本が反省すべきところもあるが、戦争の勝者は正しく敗者は悪いと決めつけた、いわゆる「東京裁判史観」は間違っている。教科書改善運動や教育改革により少しは良くなってはいるものの、歴史認識について中国や韓国の反日的姿勢は変わっていない。戦争は愚かなこと、あの戦争で亡くなった人達やそのご遺族の苦しみを思うと戦争は断じてしてはならないが、国家の安泰や家族の幸せを願って戦った人達を「侵略戦争の手先だった」というような教育をしてはならない。子供たちが日本人として誇りを持てる日本にしなければいけない。かつて、欧米の国々はアジアやアフリカを植民地にし、搾取したり奴隷制度による人種差別を続けていたが、子供たちに謝罪させるような教育はしていない。

現在、安保法案の審議が国会にて議論されているが、自国の防衛は自国で行うのが当然のことと考える。随分昔のことではあるが、娘の小学校入学式での校長の一言が心に残る。

「今日からは自分の事は自分でしましょう。まずは、自分の靴は自分でそろえる。」

現在の日本人は他人に頼ることに慣れてしまい、自ら解決・自ら決断できる人材が育っていない。最近の国際情勢を注視すれば、日本の防衛を他人（米国）まかせにして決して安心できる環境ではないのである。安保法案に反対する前に、われわれは日本を取り巻く国際情勢を十分理解し戦争を抑止する手段を構築して行くことが重要であろう。はたして本文が掲載された時点で国会論戦の結末がどのような結果となっている事であろうか？このままでは日本の将来が危ぐされる。

森岡正宏氏のメルガマより一部転用)

次回のバトンタッチは 上柿鉄工建設(株) 社長様 宜しく申し上げます。

教育・認定事業委員会より

委員長 藤田英輝

「ラグビーW杯日本代表VS南アフリカ戦を観て」

とんでもないものを見てしまった！ラグビーファンならみんなそう思うはず。ラグビーの世界ではニュージーランドのオールブラックスが有名ですが、南アフリカのスプリングボクスは政治的な問題（アパルトヘイト）のせいで、昔はW杯に出られませんでした。その頃から実はオールブラックスより強いと言われていました。裏の実力ナン

バーワン。プロレスで言うところのルー・テーズに対するカール・ゴッチのような扱いでした。W杯に参戦後も二度優勝して、噂が真実であったことを証明しました。日本が勝ったのは、プロレスで言うところの木村健吾がカール・ゴッチに勝ったようなものです。

80分間激しいタックルを浴びせ続け、スピードラグビーに徹し、奇襲戦法を継続しました。南アはおそらくよく分からないまま、ムキになって日本の戦術につき合い、疲労してしまったそんな戦いでした。

ラグビーは番狂わせが起きにくいスポーツと言われます

が、ラグビー通の私に言わせるとちょっと違う。単にチームの総合力の高い方が勝つのではなくて、戦略・戦術が正しくて、チームの意思統一がきちんと出来ていて、一人一人がその役割を忠実にこなし、自分たちが相手より少しでも優っているところで勝負し続けた方が勝つというスポーツです。もちろん相手も同じことを考えていて互いの弱点を衝くような戦いになるのですが、今回は日本のほうが巧くそれが出来たということです。事実、南アのSO（スタンドオフ）の防御が弱いというのを見抜き、そこに奈良県天理市出身の立川理道（元天理大の名SO）を突っ込ませて何度も南アの防御ラインを切り裂いていました。こういう選手をラグビーではペネトレーター（突破役）と呼びます。カッコいいでしょ。ぜひ県民賞をあげましょう。

一般にはラグビーは、ルールが難しくてなんだかよく分からんと言われますが、ラグビー本を買ってきてちょっと専門用語を理解すれば楽しめます。また、上述のとおり非常にロジカルで、単に体力バカがやっているスポーツではないことが分かるはず。ひいては組織論にまで思いを巡らし、それぞれの個性を活かし、いかに鍛え、どう組み合わせれば成果がでるか。そんなことまで考えるようになりますよ。（なんか無理矢理、委員会ばい話にしましたが、もしエディさんが本を出せば、ビジネス本として売れると思います）

さあ秋から冬は、ラグビーの季節です。ラグビーを見てしっかり勉強しましょう。そして、2019年にはラグビーW杯日本開催がひかえています。まあとりあえずそこまでがんばるかなあ～



共済・経営近代化委員会より

委員長 寺田信弘

共済・経営近代化委員会 ver.12

今回は共済・経営近代化委員会を開催することが出来ませんでした。第3回委員会を9月24日 19:00より組合会館にて開催する予定です。議題といたしまして、賛助会員から提案された新たな共済商品の説明、提出された覚書を委員会にて検討し次回の理事会にて審議して頂ける様にしたいと思っております。

次に、組合員・賛助会員合同研修旅行（新年会）について議論し、時期はH28年2月、研修場所は、今治造船西条工場見学。その後、道後温泉方面で新年会を予定し、次回の理事会にて協議していただけるようにいたします。

そして、経営近代化事業（仮称 駈込み寺）については、以前の経費削減セミナーでお世話になった 水谷氏を中心に組合員の皆様に周知して頂ける様、セミナーや相談会を開催できるように議論したいと思います。

共済・経営近代化委員会の皆さん 次回委員会にご参加お待ちしております！

青年部コーナー

青年部会長 井上貴成

9月11日（金）奈良県建築士会青年委員会、奈良県建築士会樫原支部、奈良県建築士事務所協会と我々の組合を含めた4団体で、見学会を開催致しました。詳細は、朝から宮脇鋼管様へ行き、パイプの3次元切断を拝見し、午後からは日立造船様にて無動力で自立するフラップゲートの実演、大型シールドマシンの製作品、放電破碎の実演と日頃観る機会や経験ができない事をタイトなスケジュールの中、拝見させていただき、見学後は各団体、懇親を深めるべく、大和八木駅近辺で懇親会を開催し、みのり多き1日となりました。参加された方々から、大変よかったですと仰っていただきました。

また、奈良県技能フェスティバルが今年もあります。去年同様に各鉄工所で作成した作品を持ち寄り、販売したいと思っております。鉄構組合での参加ですので、皆様ご協力宜しくお願い致します。

<宮脇鋼管見学>



針田理事長挨拶



宮脇社長挨拶



見学事前説明



工場記念撮影

<日立造船見学>



見学事前説明



フラップゲート見学



放電破碎見学



工場で記念撮影

奈良支部コーナー

奈良支部長 中嶋孝

9月に入りましたが、まだまだ暑いが続いております。朝夕の寒暖差も大きくなる時期ですので、皆様、体調管理にはお互いに注意しましょう。

さて、今年の夏は早稲田実業の一年生スラッガー清宮君らのフィーバーに沸いて、例年以上に夏の甲子園、高校野球が非常に盛り上がりました。勝っても負けてもまた次の試合があるプロ野球と違って、夏の高校野球の大会は、負けたら3年生はその試合で引退しなければならないという、シビアで厳しい世界。であるからこそ、勝利したチームは美しく、負けたチームにもまた、様々な隠れたドラマが数多くあるのです。奈良県の地方予選のベンチに入れる人数は20人。そのベンチに入れるかどうか、そして試合に出られるかどうか。さらに、人数の多いチームの場合はAチーム、Bチーム、時にはCチームまであり、それぞれの場面で、またいろいろなドラマがあるのです。高校野球に入ったばかりの長男の野球部も3年生が引退する『卒部式』が先月に執り行われました。坊主頭から少しだけ伸びた髪型の凛々しい少年達は、レギュラーに入った子も、試合にあまり出ることが出来なかったり、ベンチに入れなかった子も、それぞれが「幼いころから好きでやってきた野球を、高校3年生最後の夏までやりきることが出来て本当に良かった。悔いは無い。周りにも感謝している。」と自分たちの言葉でメッセージを伝えていました。そして裏方としてチームを支えていたマネージャーさん達も、「みんなと一緒に部活動が出来て、本当に良かった」と話してくれました。大人になり、日常に流されて、忘れてしまいそうになりま

すが、青春時代の純粋な気持ちを思い出させてもらった、さわやかな『卒部式』でした。



【連絡事項】奈良支部の皆様にもこのコーナーでいろいろなことを発信していただきたいと考えております。次回の記事は、久保鉄工の久保さんに是非お願いしたいと思えます!! (^_^)

橿原支部コーナー

橿原支部長 藤田英輝

めっきり秋めいてまいりましたが、皆様いかがお過ごしですか？

さて、橿原支部のほうですが大した話題もないので、私が温存してきたとおきの観光案内でも・・・多武峰の談山神社から石舞台古墳へと下っていく県道155号線（多武峰見瀬線）の中腹あたりに「細川の棚田」と呼ばれる美しい風景があります。木々が生い茂った山道のカーブを抜け、谷に架かる橋を渡ったあたりから視界が開けて、可愛らしい里山の風景が目に入ってきます。丁寧に造られた棚田が幾重にも重なり、その向こうに明日香・橿原の地が見え、さらに遠くに葛城山・二上山を望むような場所です。夕暮れ時は特にすばらしく、二上山の向こうに沈んでいく夕日に、棚田が赤く美しく照らされます。飛鳥時代の古代人もこの景色を見ていたのかなあなどと考えているとなんかじ〜んと来てしまいます。「奈良県民で良かった!」「日本人どんだけコメ好きやねん!」等々色々な想いが胸の中に湧き上がってきます。

私も若い頃は、明日香ってただの田舎の農村風景だろ?と思っていたのですが、さに非ず。自然の中で人間の営みが時代を超え重ねられてきた、里の美しさがそこにはあります。俚び(さとび)と言うらしいです。唱歌ふるさとの歌い出しに「うさぎ追いしかの山 小鮎釣りしかの川」とありますが、現代人のほとんどは幼少期にそんな体験はしていません。なのにこの歌を聴くとなぜか心が揺さぶられてしまう。きっと日本人のDNAに刻み込まれた記憶が共

鳴ってしまうのでしょうか。明日香もおそらくそんな場所で、日本の原風景なのでしょうね。



高田支部コーナー

高田支部 土谷光則

7月8日(水)18:00~高田支部会を「まるみ」にて開催いたしました。支部会につきましてはいつも多数の参加を頂いております。まず我々が支部長福本浩三氏よりご挨拶があり、続いて中原副理事長より理事会の報告事項をして頂きました。後は食事をしながら仕事の事、組合の事、その他いろいろと話をしながら、楽しい時間を過ごさせて頂きました。同業者同士、たまに顔を会わせ、お酒を酌み交せながら、親交を深めていく、情報交換の場として大切な時間だと思っております。次回開催も楽しみにしておりますので支部長宜しく。

さて、私事ではございますが、お盆休みに山口県の角島に行ってきた。本州のほぼ西端にあり絶景に心癒れてまいりました。個人的に山口県という場所が好きなのか、昨年も萩市に行って日本的な古い街並み、吉田松陰をはじめ幕末の志士のゆかりの地を見てきました。奈良から車で行くと途中で帰りたくなるぐらい遠く、田園風景が広がるのどかな萩市。車も新幹線も無い幕末の激動の時代に、江戸から遠く離れた地から日本という国に多大な影響をおよぼした多くの志士を生み出した原因、壮大なエネルギー、いろいろ悪い頭で考えながら人にとって思想・信条・教育というのがどれほど大切でやっかいな物か。うーん！ロマンですね。似合わぬ事に思いにふける45歳の夏でした。



高田支部会の様子

賛助会員コーナー

「門真鋼材株式会社」

営業部 係長 村上隆宏

組合員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素はひとかたならぬご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社は昭和38年に設立し関西エリアを中心に、あらゆる産業資材を販売しております。また近年、形鋼の一次加工が一般的となり、その取扱量も増加傾向にあります。弊社では、ユーザー様の多様化するニーズに応える様、コラムの特別開先、H形鋼のノンスカラップ開先、内開先にも対応させて頂いております。配送に関しましては、少量配送にも応じられる態勢を整えておりますので、お気軽にお申し付け下さい。

今後も組合員様との意見・情報交換、親睦を深めていく所存でおりますので、よろしくお願い致します。

【取扱品目】

形鋼. 鋼管. 厚板. 薄板. 特殊鋼. 棒鋼. 建材. その他多品種

【門真鋼材(株)建材センター】

◎H形鋼孔明機	1基
◎切断機	1基
◎H形鋼開先機	1基
◎コラム開先機	1基
◎ホイスト	9基



<お問い合わせ先>

『鉄』を通して、社会に奉仕する

門真鋼材株式会社

大阪府門真市岸和田3丁目31番10号

TEL 072-883-1717

FAX 072-882-3061

編集部より

賛助会員コーナーは、会社名50音訓順にて、お願いしております。

よって、次号は**宥神一運送様**お願いいたします。尚、ご希望があれば、順序に関わらず、先行して掲載しますので、ご連絡よろしくお願ひいたします。